

九、五二八人の署名陳情の重みを どのように受け止めるか



浜田 等議員

浜田 等議員 虎居町の村田修二氏から、町内有権者の約七割にあたる九、五二八人の署名を添えて提出された祁答院地区五町による合併協議会設置についての陳情が出され、宮之城町議会は三月三日、五町による合併協議会設置議案を、全会一致で可決した。これは祁答院地区五町は大同団結して、市制を施行し、大きく発展しようとの町民の切なる願いが込められている。その重みを町長はどのように受け止めるか。

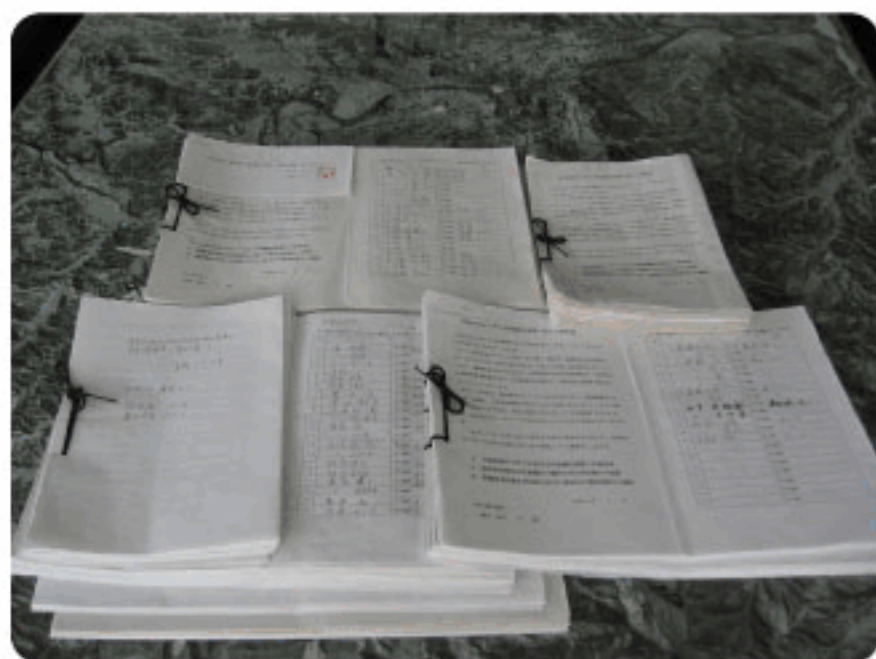
また、町長は、四町・五町合併の枠組みは、最後まで諦めないと言われるが、諦める時期は、いつの時点か。

町民の切なる思いが 痛いほど伝わる

北村町長 私はこれまで一貫して、五町が最も望ましい枠組みであること、九、五二八人の署名陳情の重みをひしひしと感じ、町民の望む切なる思いが痛いほど伝わってくる。入来町・祁答院町議会においての否決は、とても残念なことであるが、住民発議も残されている。合併の議会議決がなされるまでは、決して諦めてはいけなさと考えている。

中心市街地活性化事業に

浜田議員 関係者の合意形成は、進みつつあるのか。そして、関係者から本事業は、本当に進むのかといった、不安の声が聞かれる。



9,528人の署名を添えて提出された陳情書

町が積極的関与をすべきでは

これまで本町では、西手地区・轟原地区の土地区画整理事業、国道三二八号の街路整備事業等、町をあげて取り組み、事業が成功している経緯がある。本事業をもっと町が積極的に関与して、事業の促進を図る考えはな

関係者の意見を 十分聞いて進める

町長 中心市街地活性化事業の大きなウエイトを占める区画整理事業は、対象地域皆さんの合意形成が絶対条件である。地権者から補償費、土地の減歩、区域の設定など、具体的に示されてから判断したいとの意見が多く出された。十五年度事業化検討調査を行った結果を踏まえ、財政的分析や関係機関との調整を図り、改めて関係者への説明会を開き、理解を求めよう。町が積極的に関与することについては、二月上旬東京において、関係四省庁・県・町・TMO代表者参加のもと、勉強会を開催していただき指導を受けた。これらを指針としながら、事業化検討調査の結果を踏まえ、事業手法や事業内容の調査を行い、TMOや地元の皆さんのご意見を十分聞き、慎重に進める考えである。